

単組書記・職員さんと意見交換交流しました

8 月 29 日（土）

中和地域の各単組役員と
職員の皆さんとの交流会を開催

中和地協で毎年開催している交流会に今年は 25 人が集まりました。日頃単組で組合員のために働いていただいている職員の皆さんと意見交換をし、今後の活動に活かしていきたいと開催しました。



9 月 1 日は「防災の日」 防災の取り組みを進めよう

7 月 28 日 16 時 27 分、熊本県にマグニチュード 7.1 の大地震が発生しました。家屋の倒壊や土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。また 8 月、9 月と豪雨災害が日本列島のあちこちで発生しています。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

大正 12 年（1923 年）9 月 1 日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者 10 万 5 千余人という大惨事でした。この震災を教訓として、一人ひとりの防災対策の重要性を広く国民に理解してもらうため、9 月 1 日が「防災の日」と制定されました。9 月は改めて防災について考え、避難場所など確認していきましょう。

構成組織や近畿ブロックから熊本へボランティアとして行っている仲間もいます。連合は被災者に寄り添い復興をめざします。



**令和 8 年熊本地震
『救援カンパ』実施中**
皆さまのご支援、ご協力を
よろしくお願いします

非常持出品

いざというとき、すぐに避難するためには、日頃から非常持出品を準備しておく必要があります。両手が見えるようリュックサックを非常持出袋として使いましょう。
重さの目安：男性は15kg、女性は10kg

携帯品（0次の備え）

災害時の非常持ち出し品には、避難時の最低限の備えである「1次持ち出し品」と、被災後の数日間をしのぐための「2次持ち出し品」があります。このうち、外出時にかばんやポケットに防災グッズを入れて持ち歩くことを「0次の備え」と言います。

いつ、どこで被災するか分かりません。常に身に付けておけば、いざというときに役立ちます。